

今回は私が書きました!



新人コンシェルジュ
仲間入り

佐渡は東京23区

よりも
広いよ 新聞

SINCE 2017

よりも新聞とは?
佐渡汽船の社員が実際に訪れて、皆さまにおすすめしたい佐渡の魅力をも1枚にまとめた手書き新聞です!

発行人: 佐渡汽船(株)

Twitter: @sadokisen_0203

Instagram: @sadokisen.0203

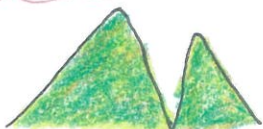
SNSも
みてね!

無断転載 転売は固くお断りいたします。

くらし編vol.4 2024年3月発行

佐渡といえば

思い浮かぶもの



きっと沢山あるはず...

その中に忘れないでいてほしい代表的なものに「佐渡おけさ」がある

日本海に浮かぶ佐渡は金鉱で栄え、北前船が寄港して栄え、日本中の人達が一攫千金を夢に見て集まった宝の島です。全国から集まった人達は民話をはじめ、それぞれの国の様々な文化を伝えました。交通の不便だった佐渡は、その後、文化のふきだまりとなり、今もなお当時の思影を残しております。昔、吹雪の夜、いろりを囲んで年寄りから聞いた民話は、子供達にとって楽しみの1つでした。話のあらすじは全国で語られているものと同じものが沢山です。

その中でも、佐渡の代名詞である「佐渡おけさ」の由来、おけさ伝説とは

おけさ、って何!?

おけさのルーツは、

九州の牛深ハヤ節からきている。
九州地方で南風のことを「ハエの風」という。ハエ→ハエヤ→ハヤへとゆ
「ハヤ節」が北前船に乗って日本海を北上し、小木の港に上陸しました!

民謡の中でも知名度の高い

「佐渡おけさ」を全国に知らしめた日本民謡界の巨星*

村田文三は佐渡の相川出身*

民謡は地元のPR曲も多いが、

「なびくよ」の歌詞は「佐渡は良い所、

住み良い所、心なびくよだよ」「おいでよ」

といっているようにも聞こえるよめ

昔、佐渡の南端小木港に1軒のソバ屋があつて、その夫婦が1匹の猫を大変かわいがっていました。ところがあまり人が良すぎたため、だんだん家運が傾き、貧しくなっていました。そこで猫は主人への御恩返しはこの時とばかり、妙齡な娘へ化けて、その名を「おけさ」と名乗り、唄に合わせて踊る姿が大変な評判となつてお客はだんだん増え、商売は繁盛し、主人の家はおかげでたちなおつたとのこととでございます。

「おけさ」とは…猫だったんです。

(諸説あり)



私はけさニヤンの
知っているかな?

佐渡歴史伝説館

に
いるよ!!